

勇気を出しなさい。
わたしは既に世に
勝っている。
ヨハネ 16 章 33 節

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
発行人 大 水 文 隆
〒852-8113 長崎市上野町 10-34
カトリックセンター内
TEL095(843)3869 FAX095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤 木 博 英 社
〒850-0852 長崎市万屋町 5-13
TEL095(821)2146 FAX095(821)2148

よきおとずれ

CATHOLIC NAGASAKI MONTHLY
カトリック長崎大司教区報

8 月・教皇さまの 意向のために祈りましょう

- ①一般の意向：牢にいる人びと
- ②宣教の意向：若者たちによるキリストの証し
- ③日本教会の意向：平和旬間に核兵器廃絶の
実現を祈る

マルチレスのところにへ行こう

日本二十六聖人列聖150周年

「今日、私はこの殉教者の丘で、愛がこの世で最高の価値を持つことを、高らかに宣言したいと思います。」1981年、日本の「マルチレス(殉教者)のところに」に立つた教皇ヨハネ・パウロ2世は、西坂の刑場を至福の丘と呼び、「愛が死より強い」ことを宣言した。マルチレスのところにへ行こう(レオン・パジェス)。26人の殉教者(信者たちを支えた台詞)である。今年6月8日は彼らが列聖されて150周年の日。この節目を記念する日本と長崎の教会は、さまざまな行事を通してマルチレスのもとへ集い、日本の教会の礎を据えてくださった神に感謝をささげた。



150 周年にあたり、バチカンから届けられたメッセージを代読するジョゼフ・チェノットウ駐日教皇大使
＝ 6 月 10 日浦上教会での記念ミサ＝

6月7日(木)

17時。聖フィリッポ教会(長崎市西坂)で「日本二十六聖人に捧ぐオペラ『二十六人の殉教』」上映・テゼ賛美の集い」が行われ、約50人が参加した。教区エキュメニズム・諸宗教委員会主催。始めに、日本二十六聖人殉教400年(1997年)を記念して、長崎で初演された創作オペラ「二十六人の殉教」DVDの上映、その後テゼ(教派を超えた祈りの集い)へと続き、聖書朗読と講

アウグスチヌス 古川武信神父 帰天



6月7日午前0時45分、慢性腎不全のため聖フランシスコ病院で帰天。72歳。
1939年9月7日、佐世保市小佐々町生まれ。67年3月16日大浦天

主堂で司祭叙階。同年4月平戸教会助任、68年9月鮑ノ浦教会助任、70年3月平戸教会主任、83年3月植松教会主任、92年5月丸尾教会主任、98年4月俵町教会主任。2005年4月から三ツ山教会主任を務めていたが、昨年10月、病氣療養のため司牧の現場を離れた。
6月7日、浦上教会信徒会館で通夜。葬儀・告別式は8日午後1時に浦上教会で高見三司大司教司式のもとに行われた。

同期の片岡久司神父(出津小教区主任)は、「私が五島で働いていたとき、突然神父様が訪ねてきました。『透析をするようになったよ』彼は少し落ち込んだように言いました。しかし『それが怖いのではない。1週間に3日も教会の仕事ができないことがつらい』と言っていました。周りの人のことばかり考えている神父様でした。少しは自分のことも心配したらよかったのに」と語った。「透析をしていても司

話、共同祈願をはさみながら、殉教者たちの心にも通じる11曲を皆で歌った。
6月8日(金) 長崎南地区評議会は、日本二十六聖人記念館と聖フィリッポ教会聖堂

6月9日(土)

14時。カトリックセンターを会場に、長崎大司教区は日本二十六聖人記念館館長デ・ルカ・レンゾ神父を講師に迎えて、列聖150周年記念講演会を行った。演題は「一世



テーパーカットする子供たち(6月8日)



二十六聖人記念館特別展観覧(8日)



西坂巡礼所プレートの除幕(10日)



樺の木の植樹(10日)

祭として働けることを証明したい」故人は生前、高見大司教に話していたという。最後に大きな十字架を背負いながら歩み通した45年にわたる司祭生活は、後輩司祭にとって大きな模範であった。葬儀が行われた6月8日は、150年前に26人の殉教者が列聖された恵みの日。浦上教会を埋め尽くした参列者は、二十六聖人の取り次ぎを願う、古川神父の永遠の安息を祈った。

(K・N)

(K・N)

6月10日(日)

10時。西坂の丘で、日本二十六聖人殉教地を「日本カトリック長崎・西坂巡礼所」として認可することを記したプレート(除幕式、樺の木)の植樹と祝福式が行われた。

除幕は、駐日教皇大使ジョゼフ・チェノットウ大司教、日本カトリック大司教、日本カトリック司教協議会会長・池長潤大司教、高見三司大司教、イエズス会日本管区長・梶山義夫神父、フランシスコ会日本管区長・長谷川潤神父、日本二十六聖人記念館館長デ・ルカ・レンゾ神父、田上富久長崎市長の7人によって行われた。チェノットウ大司教は「この殉教地が、訪れる人々に希望を与え、愛を育む巡礼所となるよう」約200人の参列者と共に祈りをささげた。

約200人の参加者は、貴重な映像を前にして熱心に聴き入っていた。講演に続いて、50年前の「日本26聖人記念館建造記録映画」の上映があった。

また、この日は15時から京都カテドラル河原町教会で記念ミサがあり、長崎からは教区評議会を中心とした信者7人が参加した。

高見大司教は説教の中で、神を信じない人、神に無関心な人が増えている現代において、キリストを証しすることが今の私たちに求められていると説き、二十六聖人のとりなしによって三位一体のまことの神を信じることで、祈りと呼び掛けした。

聖体拝領後、「日本カトリック長崎・西坂巡礼所」設立宣言が池長潤大司教によって行われ、また松井守男画伯から、キリストの「磔刑」復活「昇天」の三部作絵画の贈呈があり、閉祭へと続いた。

この一連の記念行事のために、長崎キリスト教協議会(議長・運営委員長 藤井清邦牧師)から贈られた26本のバラが、このミサの中でも飾られていた。

「人」と「為」という字を組み合わせると、「偽」という漢字になる。漢字の成り立ちには、「人がわざと」という意味があるそう。▲「偽」から連想される言葉は、「偽善」「偽善者」など。イエスは「偽預言者を警戒しなさい」(マタイ7:5)、「あなたがたは偽善者のようであってはならない」(同6:5)と注意する。本来、人のために何かをする行為は「善いもの」「価値あるもの」のはずである。それなのに「偽善」となることもあり得る。そのことをこの漢字は考えさせる。▲どんなときに、「人のために何かをすること」が「偽善」となり得るのか。「人のために」と言いながら、そこに「自分のため」という気持ちが混じると、「偽り」になるのではない。徹底して人のためにする場合に、行為は価値あるものとなる。平和のために、「二度と戦争を起さないために」「イエス・キリストのために」働く人々。それぞれ引き受けている役割は、どこまで「人のために」行われているだろうか。▲限りがなく100%に近いものでなければ、どこかに「自分のため」という理由が混じってしまい、「偽り」にすり替わってしまう危険がある。私たちの働きは、どこまでも隣人のため、私たちの働きを必要としている人のため。だから私たちには100%の人のために働く気持ちが必要になる。二心なく、偽りとならない働きを積み重ねていきたい。

(K・N)

(K・N)

平和祈願祭

2012/8/9(木)

強い意志を持って
伝えよう 平和への願い

午後6時45分(平和公園)
午後8時(浦上教会)
*雨天時、たいまつ行列中止

「人」と「為」という字を組み合わせると、「偽」という漢字になる。漢字の成り立ちには、「人がわざと」という意味があるそう。▲「偽」から連想される言葉は、「偽善」「偽善者」など。イエスは「偽預言者を警戒しなさい」(マタイ7:5)、「あなたがたは偽善者のようであってはならない」(同6:5)と注意する。本来、人のために何かをする行為は「善いもの」「価値あるもの」のはずである。それなのに「偽善」となることもあり得る。そのことをこの漢字は考えさせる。▲どんなときに、「人のために何かをすること」が「偽善」となり得るのか。「人のために」と言いながら、そこに「自分のため」という気持ちが混じると、「偽り」になるのではない。徹底して人のためにする場合に、行為は価値あるものとなる。平和のために、「二度と戦争を起さないために」「イエス・キリストのために」働く人々。それぞれ引き受けている役割は、どこまで「人のために」行われているだろうか。▲限りがなく100%に近いものでなければ、どこかに「自分のため」という理由が混じってしまい、「偽り」にすり替わってしまう危険がある。私たちの働きは、どこまでも隣人のため、私たちの働きを必要としている人のため。だから私たちには100%の人のために働く気持ちが必要になる。二心なく、偽りとならない働きを積み重ねていきたい。

(K・N)

(K・N)

2011 年度決算に関する報告

長崎大司教区

宗教法人カトリック長崎大司教区の収支決算書が 6 月 26 日、教区顧問会で承認された。大浦天主堂拝観料からの収入が予算より 1 千万円多かったこと、カトリックセンター事業部門からの立替金返済収入があったことなどの理由による収支の改善が見られる。今後、信徒発見 150 周年に向けて大きな行事費が見込まれるので、支出の適正化も検討し、将来に備える必要がある。

長崎大司教区

〔収入の部〕

科 目	決算額	(%)
1. 経常収入の部	450,976,580	74.1
教区費	138,926,086	22.8
信 徒	123,441,086	
司 祭	10,065,000	
修道会	5,420,000	
特定献金	34,752,995	5.7
神学生養成援助費（封筒）	12,659,242	
世界広報の日献金	2,507,045	
聖ペトロ使徒座への献金	6,617,146	
世界難民移住移動者の日献金	2,604,782	
世界宣教の日献金	2,664,795	
宣教地司祭育成の日献金	2,893,556	
児童福祉の日献金	4,806,429	
特別献金	35,258,121	5.8
寄付金	12,926,693	
献金収入（本部関係）	21,259,400	
ミサ奉納金(ビナチオ・トリナチオ)	591,000	
ミサ献金（教区行事）	481,028	
諸委員会活動費	5,397,750	0.9
(1) 信仰養成部	3,269,300	
生涯養成委員会	975,000	
典礼委員会	264,300	
青少年委員会	2,030,000	
(2) 福音化推進部	688,000	
平和推進委員会	688,000	
(3) 広報委員会	1,440,450	
その他	236,641,628	38.9
保険金収入	2,608,835	
受取利息	3,726	
雑収入	8,975,871	
小教区拠出金	222,620,196	
退職金積立	2,433,000	
2. 財務収入の部	97,850,000	16.1
固定資産収入	3,150,000	0.5
受取家賃	3,150,000	
その他の財務収入	94,700,000	15.6
内部貸付金回収	700,000	
立替金返済収入	4,000,000	
国宝保存財務資金	90,000,000	
資金取崩収入	0	
3. 前年度繰越金	59,477,436	9.8
収入の部合計	608,304,016	

〔支出の部〕

科 目	決算額	(%)
1. 経常支出の部	526,776,498	86.6
宗教活動費	7,174,775	1.2
祭儀費	966,335	
特別行事	2,620,745	
助成金（小教区）	1,611,624	
教区評議会	1,976,071	
諸委員会活動費	21,439,586	3.5
(1) 信仰養成部	9,249,116	
信仰養成部	22,260	
信仰教育委員会	1,636,428	
生涯養成委員会	2,605,216	
青少年委員会	4,560,497	
典礼委員会	424,715	
(2) 家庭特別委員会・小共同体	844,142	

科 目	決算額	(%)
(3) 福音化推進部	3,968,324	
福音化推進部費	36,042	
エキュメニズム・諸宗教委員会	1,094,549	
平和推進委員会	1,691,731	
福祉委員会	7,360	
人権委員会	1,138,642	
(4) 教会奉仕者等養成部	964,924	
召命委員会	964,924	
神学生養成委員会	0	
(5) 広報委員会	6,413,080	
負担金	23,937,344	3.9
中央協議会送金	16,212,415	
使徒座送金	7,124,929	
心のともしび	600,000	
神学生養成費	61,052,365	10.0
日本カトリック神学院	24,052,365	
長崎カトリック神学院	17,000,000	
長崎コレジオ	20,000,000	
司祭生涯養成費	5,326,770	0.9
黙想研修会	1,272,256	
海外留学費	4,054,514	
不動産管理費	3,277,602	0.5
管理費	54,101	
租税公課	3,223,501	
人件費	303,371,294	49.9
聖職者（本部関係）	29,592,000	
聖職者（小教区）	170,280,000	
引退司祭	10,200,000	
職員（本部関係）	40,959,098	
職員（小教区）	52,340,196	
福利厚生費	41,873,614	6.9
法定福利費（司祭・本部）	27,538,177	
法定福利費（小教区）	2,681,318	
医療費	7,751,801	
医療共済制度	1,426,250	
年金（掛け金）	2,476,068	
維持管理費	30,306,293	5.0
大司教館	16,830,718	
センター（管理部門）	13,475,575	
事務費	26,083,855	4.3
本部事務局	3,973,368	
法人事務所	22,110,487	
その他の支出	2,933,000	0.5
巡礼センター補助金	500,000	
退職引当金繰入支出	2,433,000	
予備費	0	0.0
2. 財務支出の部	14,647,269	2.4
財務支出	11,647,269	1.9
補助金	10,000,000	
利子支払（借入金）	1,647,269	
内部貸付金	0	
立替金	0	
積立金支出	3,000,000	0.5
司教活動資金	3,000,000	
不動産取得資金	0	
巡礼地整備資金	0	
財務運用資金	0	
3. 次年度繰越金	66,880,249	11.0
支出の部合計	608,304,016	

カトリックセンター事業部門

〔収入の部〕

科 目	決算額
宿泊売上	26,313,913
会議室売上	1,917,530
カフェ売上	10,863,900
雑収入	1,751,546
受取利息	1,567
前年度繰越金	12,275,628
収入の部合計	53,124,084

〔支出の部〕

科 目	決算額
給料および手当	15,399,498
法定福利費	902,107
福利厚生費	503,058
什器備品	0
消耗品費	2,581,592
修繕費	1,239,073
旅費交通費	655,153
自動車諸費	0
通信費	379,810
水道光熱費	3,016,817
下水道使用料	0
燃料費	1,583,550
広告宣伝費	61,640
租税公課	2,426,103
接待交際費	0
保健衛生費	769,603
雑費	1,697,145
原材料仕入れ	4,535,064
仕入	815,939
消費税	1,097,200
保険・会費	931,153
手数料	527,180
内部借入金返済	4,000,000
寄付金支出	2,000,000
次年度繰越金	8,002,399
支出の部合計	53,124,084

2012 年 四旬節愛の献金

総額 7,731,394 円

(7 月 13 日現在)

右の献金の他、直接カリタスジャパンへご送金いた
だいている分もあります。

皆さまのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

カリタスジャパン長崎支部

2011年度決算に関する報告 長崎教区 71 小教区決算集計表

〔収入の部〕

科 目	決算額
1. 経常収入の部	1,116,274,628
献金収入	790,738,183
教会維持費	422,141,059
ミサ献金	116,253,532
ミサ奉納金	179,946,627
祭儀献金	42,744,573
その他の献金	29,652,392
寄付金収入	59,005,991
一般寄付金	29,753,992
指定寄付金	7,639,200
司祭寄付金	3,858,672
修道会寄付金	0
その他の寄付金	17,754,127
その他の収入	83,650,869
教区補助金収入	13,557,324
受取利息収入	460,018
墓地納骨堂管理費収入	8,013,542
行事収入	7,488,889
非課税事業収入	3,067,431
雑収入	51,063,665
預り金収入	182,879,585
教区費	121,818,617
神学生養成援助費（封筒）	11,298,892
児童福祉の日献金	2,592,124
世界広報の日献金	2,345,919
聖ペトロ使徒座への献金	2,364,129
世界難民移住移動者の日献金	2,464,211
世界宣教の日献金	2,504,127
宣教地司祭育成の日献金	2,605,711
特別献金	9,053,380
預り金	3,272,520
一葉募金	6,721,115
クリスマス募金	4,187,587
カリタスジャパン募金	7,595,931
その他の募金	4,055,322
2. 財務収入の部	295,186,609
内部借入金収入	40,000,000
外部借入金収入	0
特別目的預金取崩収入	51,342,116
境内地拡張費積立金収入	0
境内建物建設増改築積立金収入	97,067,907
土地売却代金収入	0
修理費積立金収入	98,283,896

科 目	決算額
雑収入	8,492,690
重文防災施設工事補助金	0
3. 前年度繰越金	684,556,292
収入の部合計	2,096,017,529

〔支出の部〕

科 目	決算額
1. 経常支出の部	1,040,643,878
小計Ⅰ	854,456,748
祭儀費	42,375,438
教化費	20,324,564
教育養成費	34,461,962
図書費	6,901,472
出版刊行費	12,118,769
行事費	41,797,300
負担金	11,912,593
維持管理費	50,173,246
備品修繕費	28,216,069
保守管理費	16,894,751
墓地管理費	5,234,552
保険料	24,485,934
給与手当	240,841,218
雑給与	25,642,242
退職金	1,339,000
福利厚生費	13,840,292
法定福利費	2,900,930
会議費	4,779,066
消耗品費	19,029,278
器具備品費	28,217,809
リース料	12,372,915
通信費	12,951,446
旅費交通費	14,985,652
自動車諸費	21,869,470
水道光熱費	71,558,603
接待交際費	22,024,137

科 目	決算額
公租公課	1,224,146
支払利息	0
補助金支出	15,222,342
支払手数料	164,157
非課税事業支出	2,247,552
雑費	40,771,843
司祭活動費補助	4,566,000
修道院献金	3,012,000
小計Ⅱ（預り金支出）	186,187,130
教区費	121,630,283
神学生養成援助費（封筒）	11,537,142
児童福祉の日献金	2,647,330
世界広報の日献金	2,385,637
聖ペトロ使徒座への献金	2,401,683
世界難民移住移動者の日献金	2,506,226
世界宣教の日献金	2,550,075
宣教地司祭育成の日献金	2,605,395
特別献金	10,549,849
預り金	3,131,420
一葉募金	6,587,475
クリスマス募金	4,409,948
カリタスジャパン募金	7,782,099
その他の募金	5,462,568
2. 財務支出の部	363,532,446
内部借入金返済支出	46,214,000
外部借入金返済支出	5,000,000
土地取得支出	36,556,095
建物取得支出	56,235,356
構築物購入支出	20,126,856
器具備品購入支出	10,372,153
特別目的預金積立支出	181,221,083
退職積立金	4,669,913
建物増改築費	3,136,990
教会修理費	0
3. 次年度繰越金	691,841,205
支出の部合計	2,096,017,529

	(2011 年度)	(2010 年度)
世帯数	18,153	18,172
①維持費 / 世帯数 / 月	1,938	1,902
②教区費 / 世帯数 / 月	559	607
③教区費 / 維持費（％）	29	32
④ミサ奉納金 / 世帯数 / 月	826	882
⑤ミサ献金 / 世帯数 / 月	534	512

特別養護老人ホーム聖マリアの園（五島市）のシスターから話を聞く教区福祉委員会の岩崎晋吉委員長



去る5月20日から22日にかけて、教区福音化推進部の福祉委員会が進める「21世紀ミゼリコルディア構想」の具体化に向け、下五島地区でヒアリング（聞き取り）を行った。「ミゼリコルディア」とは、ラテン語で慈悲という意味。イタリアでは13世紀から活動しているカトリックの福祉団体、ボランティア活動組織の名称である。福祉とキリスト教は深い関連がある。なぜなら、キリスト教は「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい」（ヨハネ15・12）と言われ、苦しむ人、悲しむ人の友となられた主キリストに倣い、愛を生きるものだからである。

16世紀後半のキリシタン時代には、長崎でも『ミゼリコルディアの組』という慈悲の会が活躍し、貧しい人や病気の、重い皮膚病の人への奉仕活動が、信徒たちによって行われていた。構想は、この慈悲の会を長崎の教会に復活させようというもの。長崎教区シノドスが開かれようとしている今、教会がもつとキリストのみことばを生きる共同体になれるよう、教区の第4期（2011～13年度）活動計画に盛り込んだ。今回の下五島の聞き取りは、具体的なプロジェクトを立ち上げる前に、多くの方々の意見を聞きながら現状を把握し、一緒に立ち上げていくため、今回は司祭団や各小教区評議会議長と懇談し、主にカトリック関係の福祉・医療施設と行政を回って話を聞いた。所感を述べれば、想像以上に隅々から高齢化と過疎化が進み、信仰だけでなく生活

が脅かされている一方、都会のように、離婚・孤独死、幼児虐待、DV（家庭内暴力）が起こり、独居率が他の市よりかなり高いこともわかった。また、信徒の立場からは、他県に移住者からの強い勧めで、ボランティア活動を始めた教会もあるが、隣人愛の大切さは皆知っているながら、信者が具体的に実践していくことを今まで学んでこなかったとの意見もあり、これからの大きな課題も見えた。

今後は、各教会を訪問しながら、信徒皆さんの意見を聞き、地区単位で施設の訪問やボランティア活動を企画し、信徒の皆さんと共にプロジェクトを立ち上げ、隣人愛を実践する地区教会のモデルケースとなることを目指していく。

構想のような継続性のあるボランティア活動を1日も早く望むとの施設関係者の意見や、自分たちの原点はそこにあるとのシスターのことは、司祭団の賛同は、強い後押しであった。新たな時代に向け、手探りは続く。

「21世紀ミゼリコルディア構想」下五島でヒアリング開始

教区福音化推進部長 紙崎新一

長崎市万才町



再び家庭を振り返る ⑥

長崎教区家庭特別委員会
副委員長 頭島 光

「再び原点に立ち返る」

私は、長崎教会管区の代表としてカリタスジャパン大槌ベースキャンプで奔走しておられる教区本部事務局次長の古木神父様の代わりに、今年度から家庭特別委員会の職務を任せられることになった頭島神父です。よろしくお願いいたします。

何か記事をということでしたので、表題にもありますように原点に立ち返ることをテーマに、自身の思うところを書き連ねてみたいと思います。(原点に立ち返る)と

からです。その証として、当時「家の教会」と呼ばれていたことを思い出してください。キリスト教初期の時代、信者たちは普通に家に集まり、感謝の祭儀を祝っていました(使徒2・46)。

ローマ書の一節でパウロは次のように記しています。彼らの家に集まる教会の人々によりしく(ローマ16・5)、またコリント書の一節でも「アキラとプリスカが、その家に集まる教会の人々と共に、主においてくれぐれもよろしくとのことです(1コリ16・19)」とあります。この他にも「家にある教会」(コロ4・15、1ペ1・2など参照)という表現が用いられていて、ごく普通に「家の教会」で祭儀が営まれていたことがわかります。

三ツ山教会献堂50周年
堅信式と記念ミサ
地域の代表者など250人
余りが参列し、恵みの節目を感謝するとともに、大人1人を含む6人の受堅者のために祈った。



井持浦ルルド祭

5月27日、20回目のルルド祭が井持浦教会で行われ、約400人が参加した。ミサに先立ち、教会下のカントリーパークから聖母行列があり、ロザリオを唱え、また子供たちがマリア像に花まきを行った。

井持浦教会を担いでいる野濱達也神父(福江小教区助任)は、「私自身初めてルルド祭に参加しました。ルルドを大切にしていた信徒の方々の熱意を感じます。井持浦のルルドは100年以上の歴史があります。ぜひ多くの人たちに来ていただき、お祈りをしたい」と語った。



広島・高松教区聖職者 長崎で合同黙想会

道(男子トラピスト修道院)、今年は九州と各地を巡っている。

広島教区(前田万葉司教)と高松教区(諏訪榮治郎司教)は6月25日から29日にかけて、長崎大司教館を会場に、司教、司祭、助祭の合同黙想会を行った。両教区は4年前から合同で黙想会を開催しており、昨年は北海



原城文化センター(南島原市)

教区司祭黙想会

大司教館



6月13日から16日にかけて、教区司祭黙想会が長崎大司教館で行われた。説教師はサレジオ修道会の阿部仲麻呂神父。



長崎黙想の家

6月19日から22日にかけて、立山にある長崎黙想の家で、教区司祭黙想会後半の部が行われた。説教師は聖パウロ修道会の澤田豊成神父。参加

有馬川巡礼地でミサ
晴信没後400年命日にあたって
6月3日、有馬川巡礼地=南島原市=でプロタジオ有馬晴信(1612年6月5日没)の没後400年の命日ミサが行われた。日本の教会の成長期において、その身分を通して信徒の使徒職を果たした晴信。人間的弱さゆえに犯した罪の赦しを願うとともに、教会における信徒の召命・使徒職と向き合う恵みを祈り求めた。



エキユメニズムのさらなる進展へ

長崎市内のプロテスタント諸教会からなる長崎キリスト教協議会の代表が、6月18日、高見三司教を表敬訪問した。訪れたのは、この春開



かれた同協議会の総会で協議会の新議長ならびに運営委員長に選任された日本キリスト教団長崎古町教会の藤井清邦牧師(写真右)と、新設されたエキユメニズム部門担当者に任命された同長崎教会の福田英樹牧師(写真左)。両師は、教区エキユメニズム・諸宗教委員長の野下千年師の案内で大司教と対面し、約1時間にわたって会談した。

これを機会に、信仰一致祈禱祭やクリスマスの共同企画行事など、両教会の関係が一層良好なものとなるよう努めたいと希望が一致した。



アウグスティヌス
江川 憲神父
(神言修道会)



フランシスコ
福島 繁さん
(福島光明師実父)

6月1日午後3時30分、五島市にて食道がん

6月5日午後10時16分、入院先の聖霊病院名(古屋市)にて帰天。62歳。

訂正 6月号3面「第130回クルシリヨ」の記事中、「聖マリア在俗会2」と記載していましたが、「西町教会2」の誤りでしたので訂正いたします。

南山大学教授(人文学部キリスト教学科)、神言修道会司祭。1950年長崎県生まれ。72年初誓願宣立、77年終生誓願宣立、77年10月29日司祭叙階。94年神学博士号取得、南山大学にて教鞭をとる。96年、99年神言神学院院長、2000年、10年教皇庁認可神学部長、07年、09年キリスト教

のため帰天。86歳。通夜は3日五島中央会館で、葬儀・告別式は4日福江教会で、高見三司教の共同司式のもと、45人余の司祭の共同司式により執り行われた。説教の中で福島光明神父は、お世話になった福江教会の歴代の主任と助任司祭方やお告げのマリ



「幼児教育と福音宣教」

12年度第1回園長研修会と総会
― 教区幼稚園協会 ―



教区幼稚園協会は5月30日、2012年度第1回園長研修会と総会をカトリックセンターで行い、教区内の幼稚園園長ら20人余が参加した。

午前中の研修会では高見三司大司教が講師を務め、「幼児教育と福音宣教」をテーマに1時間超にわたって話しをした。

大司教は、信者でなくともカトリック幼稚園での学びや体験がその人の「祈る」習慣に影響を与えていることや、第2

「どうぞお話しください。僕は聞いております。」(サムエル記上3章10節)

神学生るとき、カウンセラーをしている大学の先生から講義を受ける機会がありました。精神的に悩んでいる人たちが、問題を抱えている人たちとどのように関わっていくか、この講義でヒントを得ることができました。カウンセリングにもいろいろな方法があるそうですが、その一番の基本は、相手の話を聞くことだそう。相手の話を聞くために、相手と話し出

園児を抱えている。昨年度と比較してみると、若干数増えている。しかし、少子化傾向に歯止めはかかっていない。一方で行政は待機児童の解消から各幼稚園の空き教室を利用している認定こども園を勧めている。

こうした政策に幾つかの園が応え保育事業に参入しているが、これまで福音宣教の足がかりとして子どもたちの人格形成に力を注いできた幼稚園が、その本分であるキリスト教的人間教育を見失うことがないよう、今後、活発な議論が必要ではないか」と話している。

公開聖書講座

教区生涯養成委員会は春の公開聖書講座を6月28日、カトリックセンターで開催し、約120人が参加した。

テーマは、「使徒言行録」から福音宣教を考えよう。講師の高見三司大司教は、「福音を宣べ伝

すのを待つことが大切だ。焦って、自分の話をしたり、関係ない話をしたりすると、かえって何も話さなくなるというの

みことばにふれて 87
谷協誠一郎神父
(長崎カトリック神学院)



「まづばらこはんにて」
カット・鎌田鉦夢くん
(南山小・3年生)

旧約時代の預言者サムエルは子供のころから、祭司エリのもとで宗教的な教育を受けていました。す



この6月、第5回秋月平和賞を授与された。同賞は、ながさき平和大集会(同実行委主催)の創設者、故秋月辰一郎氏の平和への思いを引き継ぐと設けられたもの。被爆地の市長(79・95年)

秋月平和賞を授与された 元長崎市長 本島等さん

負かすには原爆投下以外になかった――との記載があるという。アジア太平洋戦争で日本がしてきたことを謝罪すること、日本人の第一の務めと考える。92年10月の5日間、被爆地の市長とし

て初めて、韓国へ「謝罪の旅」をした。「確かに原爆を落とすのはいいことではない。報復として落とされたという。当時の海外の新聞には、日本の軍隊を

えなさい」というイエスの言葉に従って、誰がどこで、誰に、何を、どのようにに宣べ伝えたのか、教会の発展、福音宣教の経緯を、聖書の箇所を挙げながら語り、結びとして「使徒たちは、宣教活動、その過程での迫害と殉教、宣教の実りとし

た。ある夜、神はサムエルに語りかけます。しかし、サムエルはエリが呼んだのだと勘違いします。神は再び語りかけま

かいたとき、サムエルは「聞いています。どうぞお話しください。僕は聞いております」

マザーテレサは祈りについて次のように言っています。「祈りの第一は沈黙。本心に祈ることを望むならば、まず、聞くことを学ばなければなりません。大切なのは、私たちが何を語るのかではなく、神が私たちに何を語るのか、また、私たちを通して何を語るのか、ということです」マザーテレサの貧しい人々への具体的な愛の行いの原動力は、祈ること、聞くということ、とだっただけです。

聞くことは待つことであり、待つことは忍耐することです。あらゆる人間関係の中で、また神さまとの関係の中で必要なものだと思います。たくさん物にあふれ、いろいろな音が聞こえてくる現代社会。人々は聞くというものが、だんだん下手になっているような気がします。

「死んだらまぶたが閉じ、次に目を開けるとイエスさまが立っていて、そして審判が始まるのだろう。生まれてから死ぬまでの、良かったこと悪かったことをさっと振り返るのだらう」と話すこともあるとか。



「平和を教え、平和を学ぶ。平和とは何か、正義とは何か、一言では言えない。だけど、それは人間が果たすべき使命。人間が思うそれではなく、神さまの前で、平和なのか、正義なのかを常に問いかけていく」

「神さまが、『守つていくように』と正義と平和を与えてくれた。その神の前にただ従うという思

あなたの呼びかけに 応えることができますように

大浦天主堂で召命祈願ミサ

6月29日午後7時、大浦天主堂で第7回召命祈願ミサが、高見三司大司教と18人の司祭団による共同司式でさげられた。

当日は多くの参列者があり、天主堂内は満席。長崎コレジオ、長崎カトリック神学院、聖ルドヴィコ神学院、聖コルベ志願院で学ぶ神学生たち、さらにお告げのマリア修道会、長崎純心聖母会の学生志願者たち、合

わけて50人余りの召命を皆で願ひ祈った。



介があった。今年の新入生はカトリック神学院6人、ルドヴィコ神学院3人。新入生を囲む参列者にとって、心に残る祈りの時間となった。

本 の 紹 介

《被爆体験者》とされた被ばく者の叫び 戦後67年目の証言 内部被曝

176人の実体験をもとに絵や体験談をまとめたA4判、約400ページの資料集。晩发性障害の状況を証言した資料が主で、法的解釈も付記され

ている。編者は、全国被爆体験者協議会事務局長の岩永千代子さん(76、小ヶ倉教会信徒)。原爆投下時、爆心地から12km圏内の西彼杵郡深堀村(現・長崎市深堀町)にいた。1957年に指定された長崎の被爆地域(爆心地から4〜8km、場所によって12kmを超える)には、

深堀村は入っていない。「内部被ばくのことを知ってほしい。晩发性疾患を発症している『被爆体験者』の現状を知ってほしい。そういう思いからこの資料集をまとめた」と話している。聖母の騎士社発行。1冊2000円。問い合わせは岩永さん(電話095・892・0024)。

飽の浦教会 墓地分譲

場所：長崎市大谷町 262-1 ガーデンテラス長崎ホテル隣接
眼下に長崎の港と街並みを見渡す明るい丘

総額160万円 限定9基

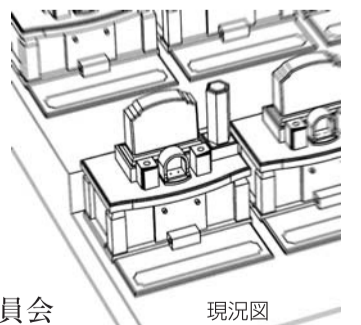
- 永代使用権付き墓地 ●占有面積は 間口 1.6m 奥行き 1.5m
- 墓地内祭壇(約 40㎡) で年2回合同追悼ミサをささげます。

即納骨可

第一期工事分 限定1基(祭壇前1列目)
総額105万円にてお譲りします。
※墓碑、彫刻費など含みます。

墓碑、納骨室(総御影石)、彫刻費など含みます。

お問い合わせ先：カトリック飽の浦教会墓地管理委員会
島田義美 TEL 095-861-0982 携帯 090-5948-8838



現況図

施工

(有)長崎大理石工業
TEL 095-839-0374

本社 長崎市つつじが丘 5-1-15 加工工場 諫早中核工業団地

水浦運送

シモン 水浦 幹雄
長崎市上野町12-3
TEL(095)(代)847-7151
844-1420

タンソの中身は入れたまま責任ある安全運送!!
(見積り無料・荷造り発送も致します)

貨物保険有り
●一般引越 ●小荷物
●荒ゴミ捨て ●遠距離
●学生引越 ●ピアノ運搬

当社オリジナル商品
一筆箋(教会編) 定価350円(税込)

各種印刷物のお見積りも無料です。お気軽にご相談下さい。

九州印刷株式会社

代表取締役社長 トマス 川原 保夫
〒852-8103 長崎市緑町4-5
TEL(095)846-6844 FAX(095)846-6845